

# 令和5年度 新津第五中学校 学校教育ビジョン

《学校の役割、社会の要請》  
 感染症対策の変更と教育活動の再構築、教育の情報化部活動の地域移行  
 《新潟市教育ビジョン》  
 第4期実施計画（R2～R6）

## 教育目標 自主・協力・創造

《コミュニティ・スクール》  
 学校運営協議会  
 《校外の機関協議会等との連携》  
 幼保こ小中連携事業  
 4つのコミュニティ協議会  
 《校外の機関、協議会との連携》

### ＜重点目標＞

「正しく判断し進んで行動しよう」「責任を重んじみんなで力を合わせよう」「意欲をもって生き生きとした学校をつくろう」

### 《目指す生徒像》

- ・夢や目標をもち、課題を的確に捉え、主体的に最後までやりぬく
- ・確かな学力、生きる力を身に付ける
- ・自他を認め、思いやり、協働して取り組む
- ・学校や地域誇りをもち発展に尽くす
- ・合言葉「あいさつの五中」「合唱の五中」「チャレンジの五中」を実践する

### 《目指す学校像》

- ・「行きたい、行くのが楽しみ」である
- ・保護者が、通わせてよかったと思う
- ・一人一人に応じた支援がある
- ・地域と協働して学校づくりを行っている
- ・地域にとって自慢である
- ・説明責任、結果責任を果たしている

### 《目指す教師像》

- ・親しまれ、頼られ、信頼される
  - ・自ら範を示し、共に学び続ける
  - ・主体者意識、チームで取り組む
  - ・課題解決の成就感のある職場をつくる
- ＜働き方改革の視点から＞
- ・業務時間の効率化、生徒とかかわる時間を生む、教職員の心身のゆとりを生む
  - ・ICTによる業務の効率化

## 重点事項（教育課程編成で核とする視点、具体的な手立てを講じる内容）

### ○生きる力の育成、学力の向上

- ・自己肯定感を育む教育活動の充実  
 ☆仲間のよさの伝え合い、自己の変容
- ・各種調査による授業分析、OJTを通じた学力向上取組、ICTの活用  
 ☆課題と手立ての整合
- ・キャリア発達を促す総合的な学習の時間の再編成  
 ☆身に付けさせたい力の系統的な配列

### ○不登校の解消と未然防止

#### いじめ見逃しゼロ

- ・情報の迅速な共有  
 ☆まず報告、そして必要な情報共有
- ・チームによる組織的な対応  
 ☆複数での対応、役割分担
- ・校外関係機関との連携  
 ☆多様な観点からの対応
- ・「いじめ対応ファイル」の確実な運用  
 ☆「報告」→「判断」→「対応」の流れ

### ○地域連携等

- ・部活動地域移行に向けた取組  
 ☆R6年度の休日の対応
- ・地域教育COによる地域との協働  
 ☆これまでの成果の蓄積と拡充
- ・学校HP、各種たより情報発信  
 ☆定期的、適時、確実な発信
- ・学校運営協議会の充実  
 ☆見通しをもった協議会の開催
- ・幼保こ小中連携の取組の推進  
 ☆9か年、校種間のつながりを踏まえた教育計画

☆キーワード、キーフレーズ

### 【特別支援教育の充実】

- 特別な支援を要とする生徒の特性を理解し、一人一人に応じた授業や活動の推進  
 ・特別支援教育の研修、全教育活動における個々のニーズに応じた支援体制の確立
- 「個に応じた」授業、支援内容、方法の共有と開発

### 働き方改革の視点から

- ・教育課程の変更、業務時間の効率化による、生徒とかかわる時間を生み出しと教職員の適正な勤務時間による心身のゆとりの確保
- ・ICTの活用による業務の効率化
- ・諸会議の精選、時間の短縮

～「心がけていきたいこと」～

- 率先垂範
- 全教職員＋生徒＝チーム
- 失敗を許容する、フォローする
- 「教える」→「問う」「考えを導く」
- 何を伝えたか → 何が、どう伝わっているか